

# 家族への深い愛情に満ちた自慢のパパ

## 我が家のパパ

- ・夫婦ともに県外出身
- ・出産、子育て 頼れる人がいない・・・



仕事はあと30年できるけど、産後の子育ては今しかできない！

自ら5か月の育休取得を発案！

しかし...

出生当時は、パパとしての実感が湧かず、どうしたら良いか、戸惑っていた...



ウチの夫、ここがスゴイ！



妻の行動や子どもをよく観察し、子どもに対して自分ができることを見つけ、実践してくれるようになった！

- ・体調を気遣い、産後1か月は、すべての家事を夫が担当。
- ・妻が仕事復帰し、帰宅が遅くなったときは、保育園のお迎え、買い物、お風呂、夕食づくり(離乳食、大人用)、子の食事、寝かしつけ、すべてを実行。

## パパが日ごろ行っている家事・育児

- おむつ交換
- ミルクや離乳食をあげる
- 料理
- お風呂
- 掃除洗濯
- 絵本等の読み聞かせ
- 妻の相談相手
- 勉強やマナーを教える
- 屋内遊び
- 屋外の遊びやスポーツ
- 買い物
- 保育園のお迎え
- 子の着替え
- 寝かしつけ

## こんなことしています！

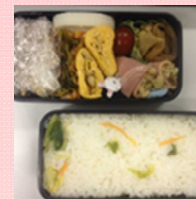
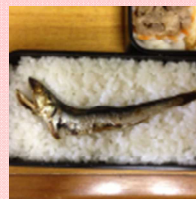
### ●汗だくで保育園のお迎え

息子が1歳になると、妻もフルタイムで働き、保育園のお迎えはほぼ毎日夫が担当。保育園は夫の職場と自宅のちょうど中間点にあり、それぞれ約2キロの移動は徒歩またはバス。延長保育のある園だが、息子を悲しませないため、時間内に到着しようと、汗だくになって保育園に到着している。



### ●夕食づくり、弁当づくり

早く帰宅した方が夕食を作るのが暗黙の了解となっているが、帰宅から寝かしつけまでの忙しい時間帯に、大人分も用意してくれている。また、毎日ではないがお弁当を作ってくれることも。面白いお弁当もあるが、本当に感謝している。



## ママからのひとこと

夫婦がお互いを理解し思いやって行動する、声をかけあうという家族の基本が、子育てにおいてもすごく重要で、そういった心構えが結果的にいわゆる「イクメン」を生み出したと思います。また、イクメン自身がイクメンであることを楽しむことこそが、イクメンであり続けられる秘訣だと思います。

